

■旧赤星鉄馬邸エレベーター整備イメージ比較検討

※アプローチ動線A～C案とエレベーターB,C案は任意の組み合わせが可能

	A案 浴室内部に設置	B案 中庭（西側）西側外部に独立して設置	C案 中庭（西側）内に独立して設置	D案 旧礼拝棟に設置し、渡り廊下で本邸2階と接続
本邸躯体への影響	×	○	○	△
	躯体（浴室）に大きく手を加える必要がある	躯体への影響は一部のみ	躯体への影響は一部のみ	躯体への影響は一部のみだが、渡り廊下を新設し接続する必要がある
北面外観への影響	○	×	△	×
中庭の復原	○	△	×	○
	中庭の復原に際し、植栽や構造物の保存・復原も可能。	礼拝棟をエントランス棟とする場合、中庭は復原しないが、植栽や構造物の保存が可能。	エレベーターが設置されるため、中庭内の植栽や構造物は保存・復原が難しい	A案と同様
実現可能性	×	○	×	×
	構造フレーム内への施工となるため困難	増築のため施工容易	周囲が囲まれた中庭内への設置となるため、施工およびメンテナンスが困難となる	礼拝棟の構造フレーム内への施工となり既存遡及の対象となる